

# 熊野大花火大会交通円滑化協議会

～平成29年の交通状況分析と円滑化対策の評価について～

平成29年12月19日（火）

## ～ 目 次 ～

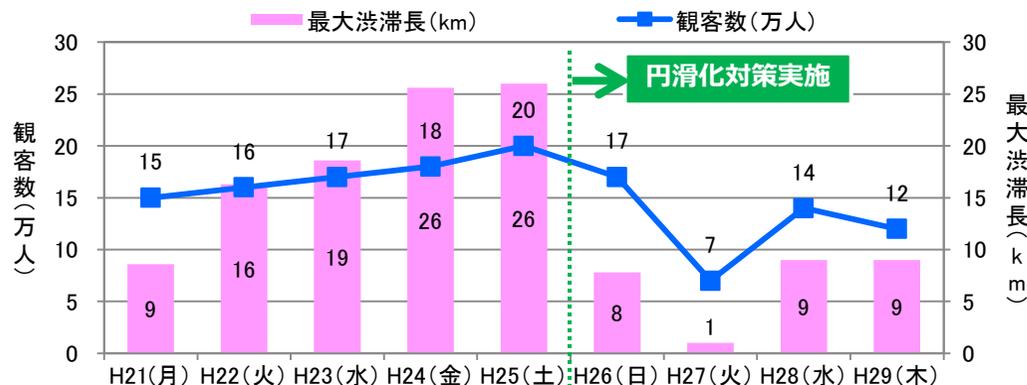
1. H29年の花火大会概要
2. 熊野尾鷲道路の通行規制
3. 会場周辺の渋滞対策（行き）
4. 会場周辺の渋滞対策（帰り）
5. ツアーバスの利用促進
6. 情報提供
7. 市外での渋滞対策
8. その他

# 1 H29年の花火大会概要

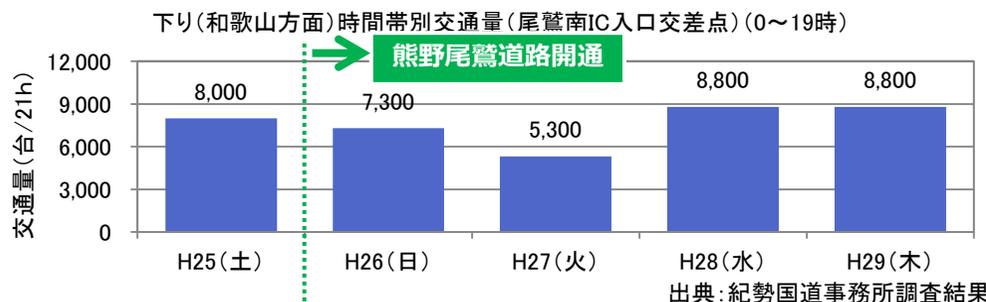
## (1) 大会概要

- H29年の熊野大花火大会の観客数は約12万人であり、名古屋方面からの交通量は休日開催であるH25と同程度にも関わらず、国道42号下り（和歌山方面）の渋滞は最大約9km。
  - 8月15日から当日の午前中にかけて、尾鷲・熊野新鹿・新宮などで降雨が観測。
- ⇒ 熊野尾鷲道路の開通により名古屋方面からの交通量は増加しており、週末の開催となるH30年では更なる交通量の増加が想定される。

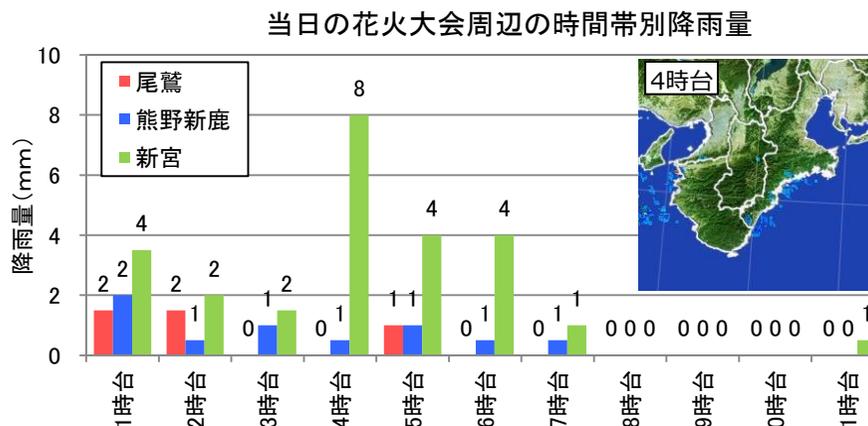
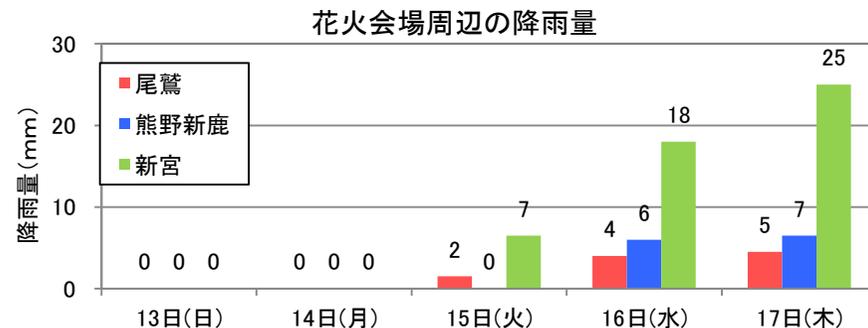
### <最大渋滞長・観客数の推移>



### <名古屋方面からの交通量>



### <会場周辺の天気>



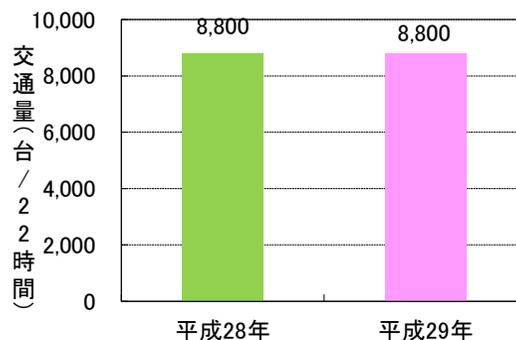
# 1 H29年の花火大会概要

## (2) H28年交通量との比較

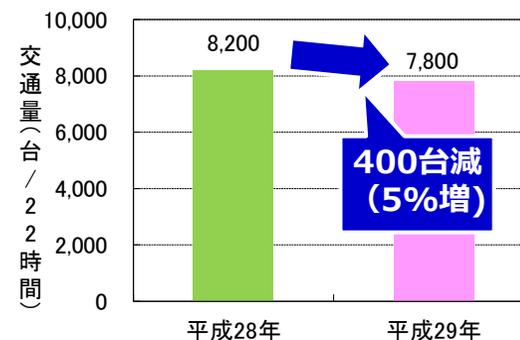
- 国道42号下り(和歌山方面)断面Aは、通行車両が約8,800台であり、H28年と同程度。
- 国道42号上り(名古屋方面)断面Bは、通行車両が約7,800台であり、H28年より400台減少。
- 熊野市内へ流入する交通量(AとBの断面合計)は約16,600台となり、H28年と概ね同程度。



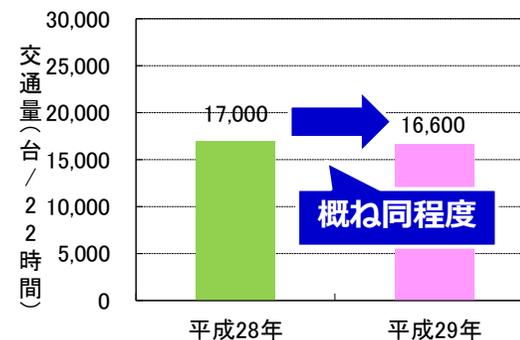
調査断面A 国道42号 北側断面



調査断面B 国道42号 南側断面



2断面合計(熊野市内への流入交通量)



※交通量は、いずれも花火大会会場に向かう交通量を示す。  
 ※調査日  
 H28年花火大会開催時: H28年8月17日(水)  
 H29年花火大会開催時: H29年8月17日(木)  
 ※調査時間  
 0時~22時(花火大会終了までを計測)

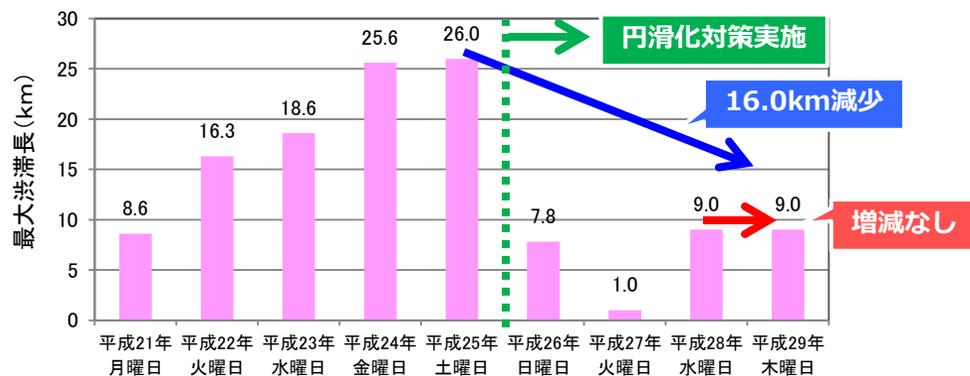
# 1 H29年の花火大会概要

## (3) 国道42号 下り（和歌山方面）の渋滞

■ 会場を起点とした国道42号下り（和歌山方面）の最大渋滞長は13～14時台の約9kmであり、H28年と同程度であった。

<行きの渋滞>

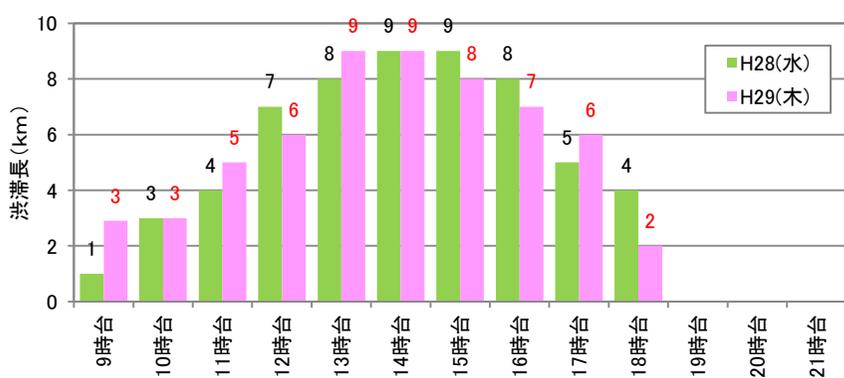
国道42号 下り(和歌山方面) 最大渋滞長



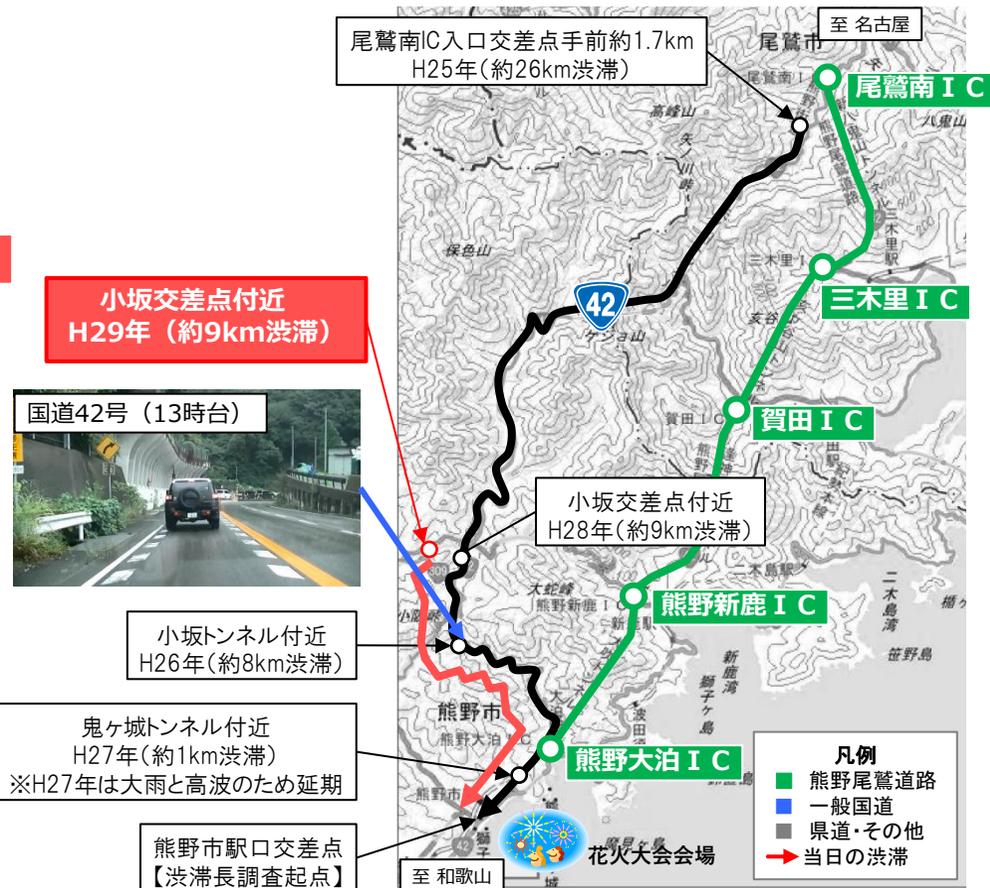
※H27年は大雨と高波のため延期

出典：紀勢国道事務所調査結果

国道42号 下り(和歌山方面) 時間帯別渋滞長



出典：紀勢国道事務所調査結果

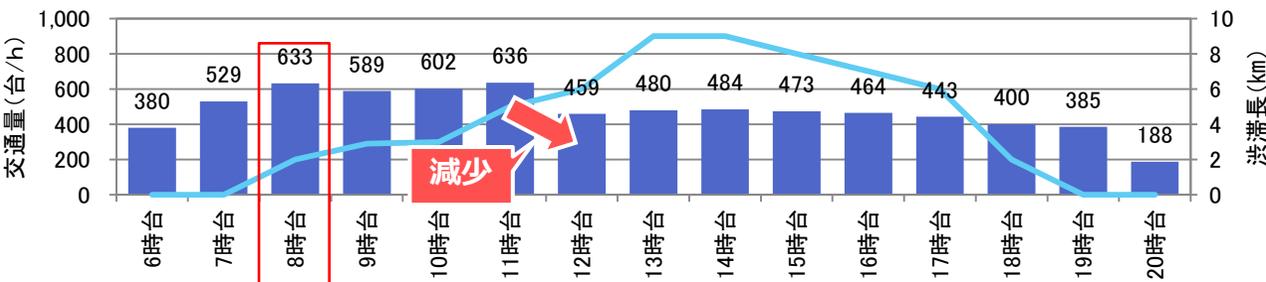


# 1 H29年の花火大会概要

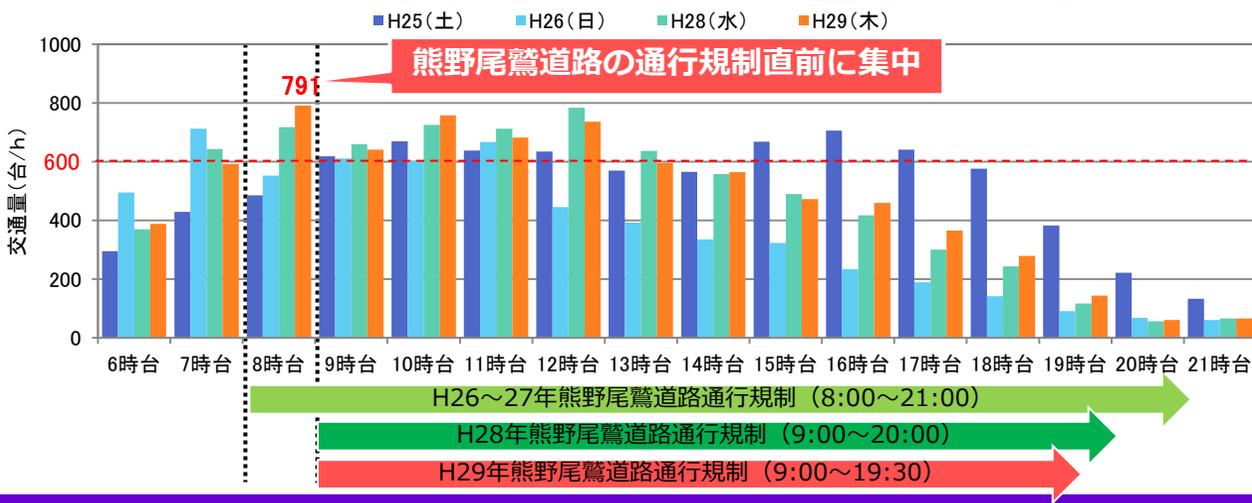
## (4) 国道42号 時間帯別交通量（断面A 下り（和歌山方面））

- 会場周辺で渋滞の先頭となっている井戸町交差点の渋滞開始時の交通量は、8時台の約633台/hとなっており、通過できる最大の交通量（交通容量）は1時間あたり約600台。
- また、12時台以降は交通容量が約450台/hであり、11時台と比較し約150台減少。
- H29年の国道42号下り（和歌山方面）のピーク交通量は、熊野尾鷲道路通行規制直前の8時台の791台/hであり、交通容量に対して約200台超過。

国道42号 下り(和歌山方面) 井戸町交差点 交通量(H29)



断面A 国道42号 下り(和歌山方面) 時間帯別交通量(尾鷲南IC入口交差点)



※交通量は、いずれも花火大会会場に向かう交通量を示す。

※調査日

H25年花火大会開催時: H25年8月17日(土)

H26年花火大会開催時: H26年8月17日(日)

H27年花火大会開催時: H27年8月18日(火)(大雨と高波のため延期)

H28年花火大会開催時: H28年8月17日(水)

H29年花火大会開催時: H29年8月17日(木)

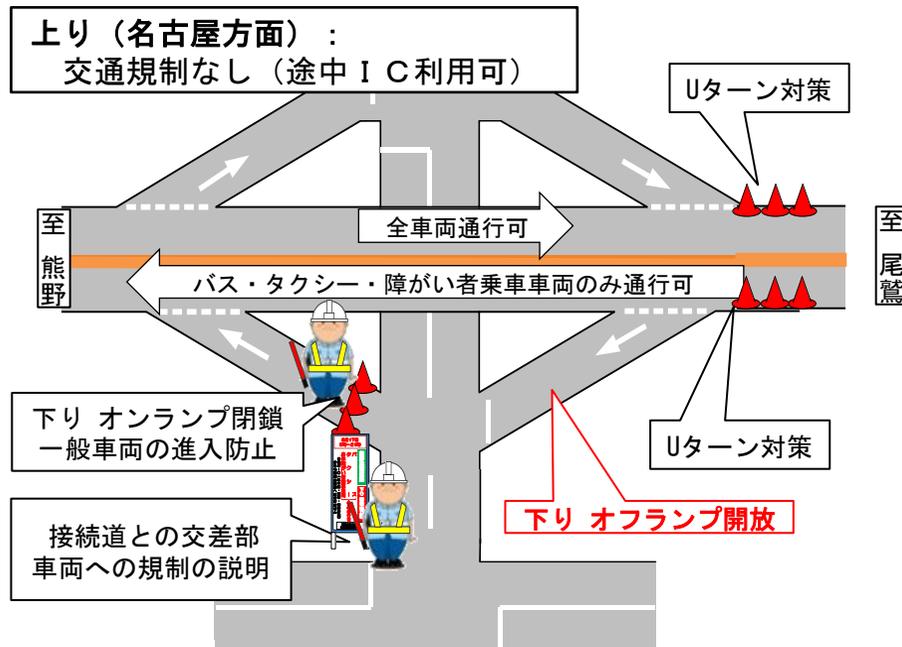
※調査時間

0時～22時(花火大会終了までを計測) 出典: 紀勢国道事務所調査結果

## (1) 途中 I C 閉鎖方法の改善

- H29年は、地域の利便性・通勤・物流面等に更に配慮し、下り途中ICのオフランプを開放。  
⇒ 三木里ICオフランプでは利用車両が確認され、**利用者のニーズに合わせた運用**が実現。
- H27年に上り（名古屋方面）の通行規制を解除したところ、途中ICから熊野市側へのUターン車両が発生。  
⇒ H28年以降は停止帯へカラーコーン設置し、**本線上でのUターン車両等は発生せずに安全な運行**を確認しており、**継続的に実施**。

<H29年の規制方法>



<H29年の規制状況>

熊野新鹿ICオンランプ閉鎖



三木里ICオフランプ開放



賀田IC付近のUターン対策



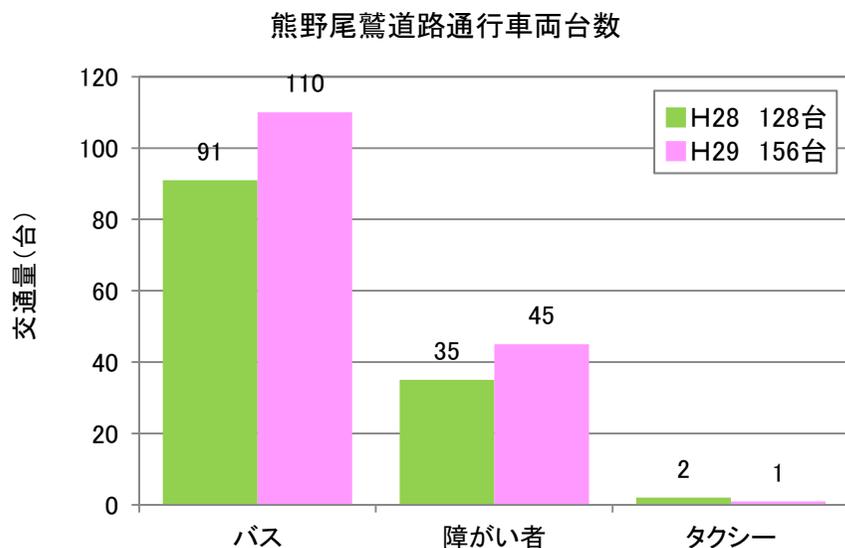
トンネル内での走行状況



## (2) 通行対象車両の拡大

- 熊野尾鷲道路では、新たに「障がい者乗車車両」まで通行対象車両を拡大。
  - 障がい者乗車車両の当日通行台数は45台であり、**昨年**に比べ**10台増加**。
- ⇒ ツアーバスの利便性が向上し、利用促進に寄与できたことから次年度も**継続的に実施**。

<熊野尾鷲道路交通規制中の車種別利用台数>



出典: 紀勢国道事務所調査結果

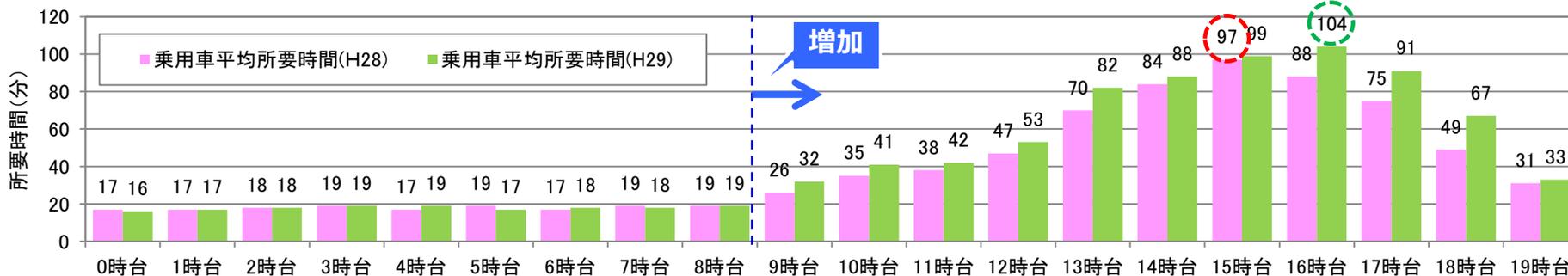
<通行規制中の利用状況>



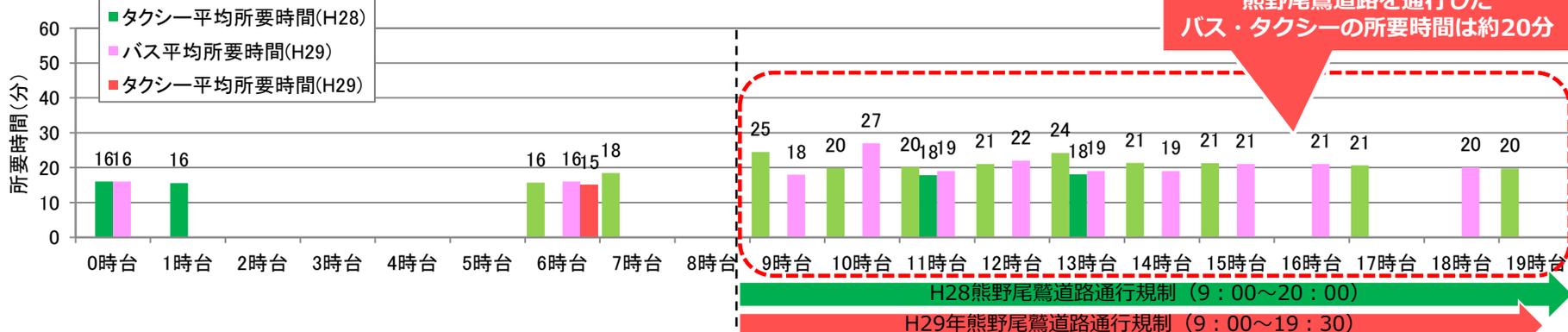
## (3) 国道42号・熊野尾鷲道路 下り（和歌山方面）所要時間

- 国道42号（尾鷲南IC～熊野大泊IC間）を通行した乗用車の所要時間は最大約100分であり、H28年とほぼ同程度。
  - 所要時間は、H28年と比較して9時台以降で増加。
  - 熊野尾鷲道路を通行したバス・タクシーの所要時間は約20分であり定時性が確保。
- ⇒ ツアーバス利用促進のための定時性確保に寄与できていることから、次年度も継続実施。

国道42号（尾鷲南⇒熊野大泊IC）所要時間



熊野尾鷲道路（尾鷲南⇒熊野大泊IC）所要時間



# 3 会場周辺の渋滞対策（行き）

## (1) 早めの来場者に対するインセンティブの付与（クーポン券の配布）

- 早めの来場に対するインセンティブとして、くまの郷土物産展で使える500円クーポン券を567枚配布し、利用された枚数は250枚（約44%）であった。
  - 入庫時間に大きな変化は見られず、インセンティブによる効果が見られなかった。
- 早めの来場の更なる促進のため、インセンティブ付与や周知方法の改良を検討。

<クーポン券の配布状況>



<配布したクーポン券>

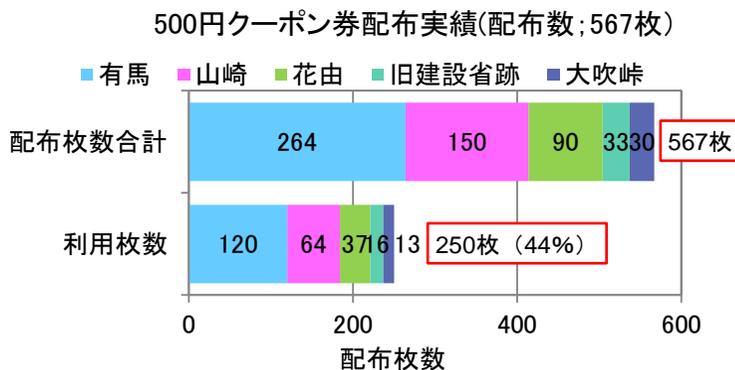


出典：熊野市提供資料

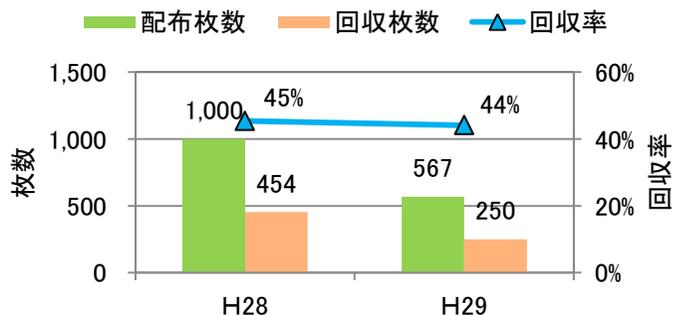
<クーポン券の利用状況>



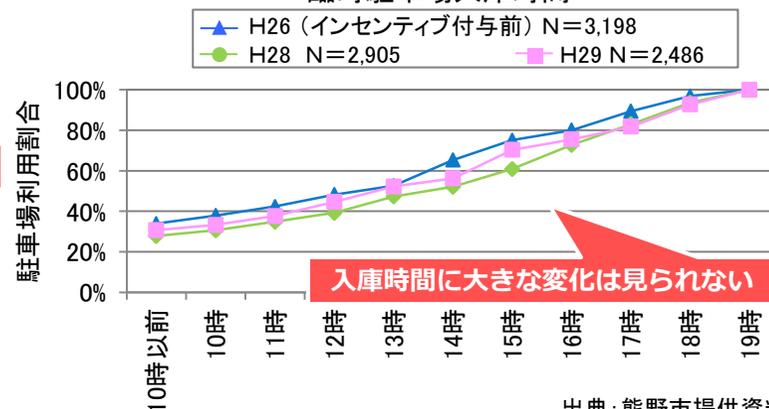
<クーポン券の配布状況>



<H28年との比較>



臨時駐車場入庫時間



<インセンティブ付与の周知>



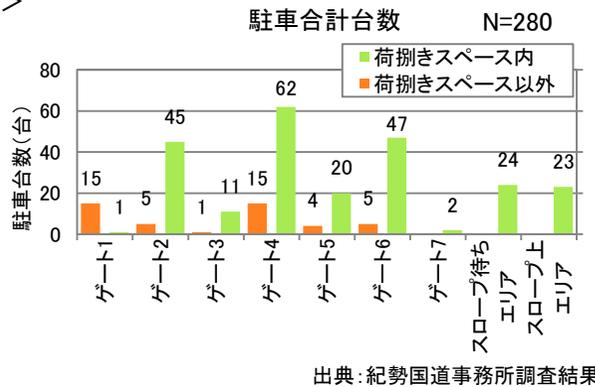
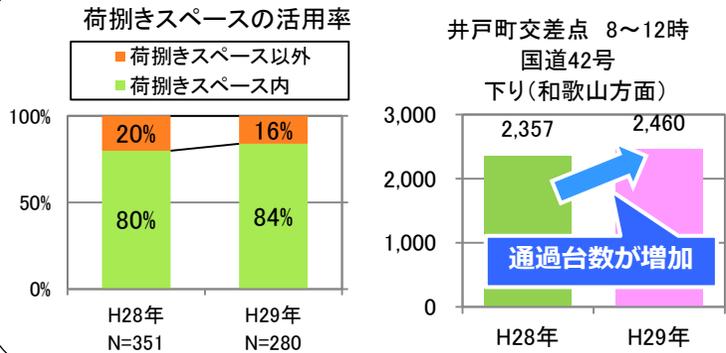
交通規制区内にクーポンの配布情報を記載。



## (2) 荷さばきスペースの設置と時間・ルール of 徹底

- 花火大会開始前の荷さばきスペースの活用率は上昇し、国道42号の通過台数は増加。  
→ 荷捌きスペース以外での駐停車も確認されており、横断歩道以外へのカラーコーン・ロープ等の設置を検討。
- 花火大会終了後は荷さばきスペースの閉鎖により、国道42号の通過台数は増加。  
→ 荷さばきスペース以外での荷さばきの抑制を強化するため、運用方法の周知徹底を検討。

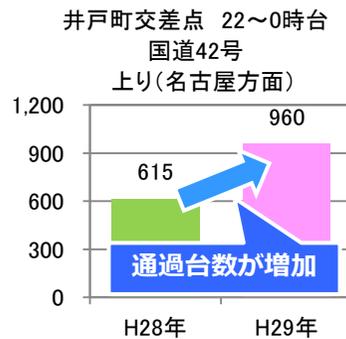
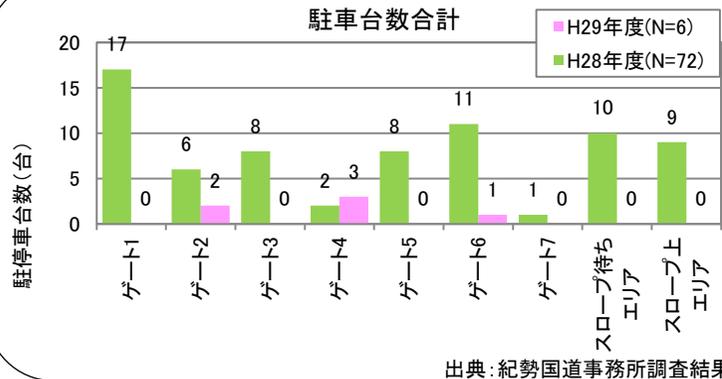
＜花火大会開始前(8時～12時)の荷さばきスペース利用状況＞



横断歩道付近の駐車車両により視認性が低下し、直進車両の速度が低下

駐停車車両による直進車両の阻害

＜大会終了後(22時～0時)の荷捌きスペース利用状況＞



花火大会終了後荷捌きスペースに駐停車



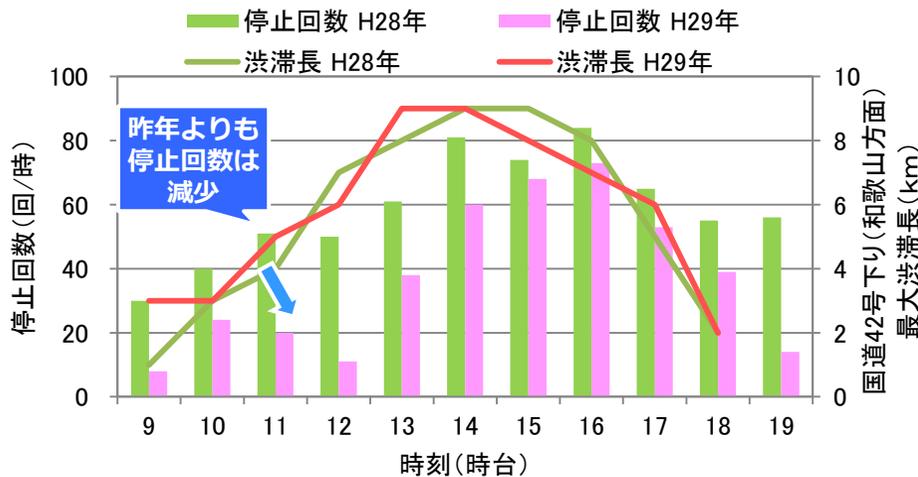
## (3) 単路部横断歩道での交通誘導方法の見直し

- 無信号交差点での横断歩行者による車両停止回数は、H28年と比較して減少し、**通過交通量が増加**。
- ⇒ 交通誘導員への指導の徹底を図り、今後も**継続的に実施**。

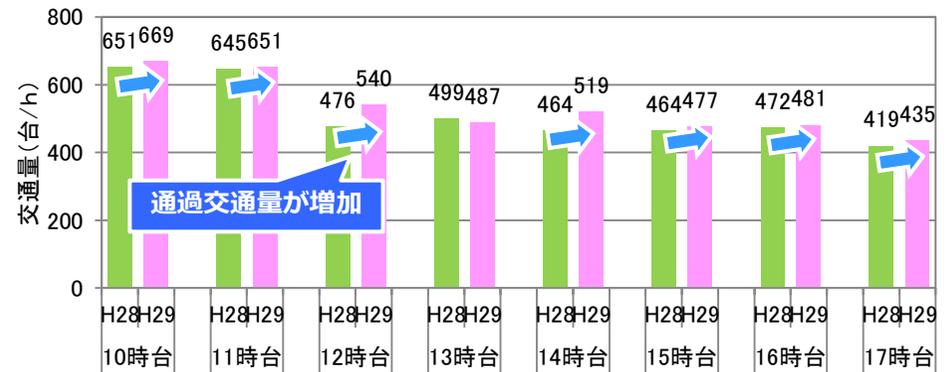
<位置図>



<単路部Cでの車両停止時間と渋滞長>



熊野市駅交差点 国道42号 下り(和歌山方面)通過交通量



## (4) ツアーバス降車場所の変更による通行阻害

- 雨天のため、井戸小学校駐車場利用ツアーバスの一部が降車場所を県道34号上に変更。
  - 熊野警察署前交差点では、ツアーバスを降車して会場に向かう歩行者により、県道34号左折車両の通行阻害が発生。
- ⇒ 次年度は、来場客の増加による渋滞発生が懸念されるため、雨天時のツアーバス降車場所の変更や利用者への歩行ルート誘導を検討。

<熊野警察署前交差点付近の交通状況>



# 4 会場周辺の渋滞対策（帰り）

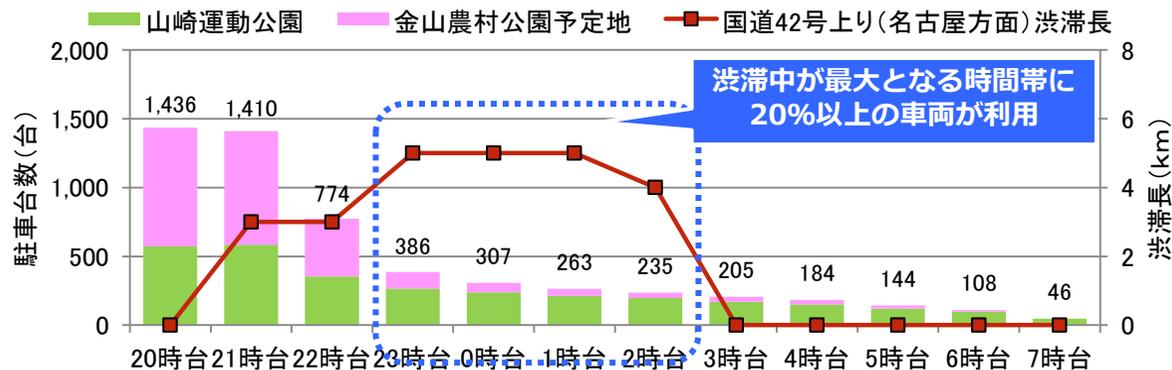
## (1) 翌朝までの駐車場の開放

- 帰りの交通分散を目的に、金山農村公園予定地駐車場、山崎運動公園駐車場を翌朝まで解放。
  - 渋滞が最大となる23時～1時台にも、全駐車台数の2割以上が利用しており、翌朝7時までの駐車場利用台数は46台
- ⇒ 来場者の利用ニーズに合った駐車場利用が確認され、今後も実施を検討。

< 翌朝までの開放駐車場と駐車台数 >



翌朝までの駐車場利用台数



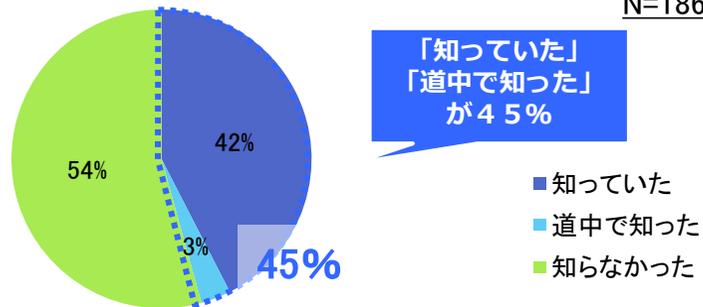
## (1) 翌朝までの駐車場の開放

- 翌朝まで利用可能な駐車場のことを知っていたと回答した方は45%。
  - 翌朝まで駐車場を利用したいと回答した方は30%。
  - 利用促進にあたっては、『快適なスペースの確保』や『トイレ数の増加』といった要望が多い。
- ⇒ ポスターやHPなどによる駐車場利用の認知度向上と、利便性向上（トイレの増設等）を検討。

<来場者に対するアンケート>

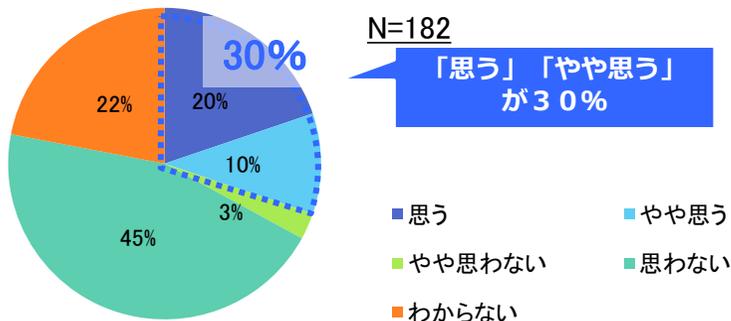
Q.山崎運動公園駐車場と金山農村 公園予定地駐車場は翌朝まで利用可能であることを知っていましたか

N=186



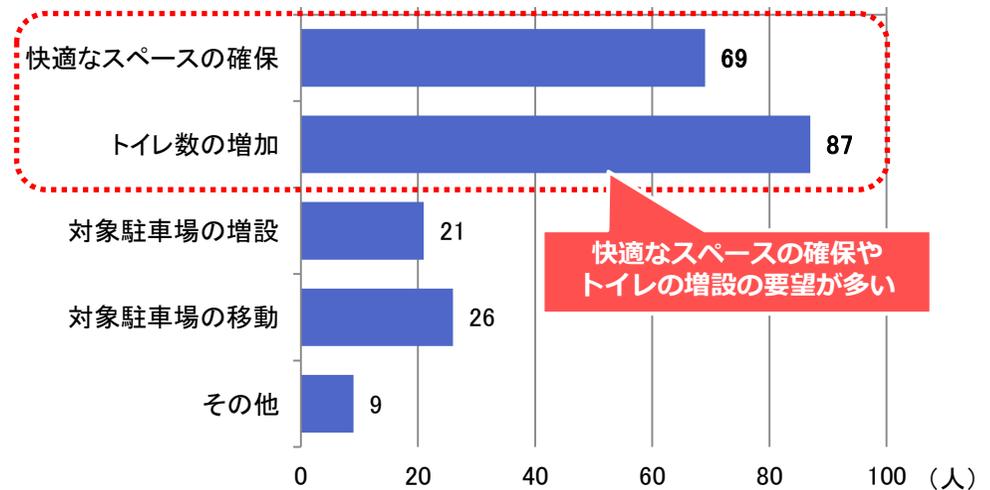
Q.翌朝まで利用可能な駐車場を利用したいと思いますか

N=182



Q.利用促進のために、改善すべき点を教えてください

N=212



### 【その他意見】

- ・ 駐車場が会場近くにあるといい
- ・ 子供のオムツの交換場所がほしい
- ・ スムーズに出口から出られるなら

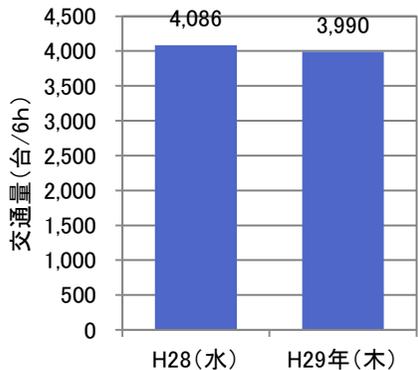
# 4 会場周辺の渋滞対策（帰り）

## (2) 国道42号の通行規制時間の短縮

- 花火大会の終了時刻が20分延期になりました。
  - 国道42号の通行規制解除時間は、花火大会終了の約40分後に規制を解除。（昨年よりも20分短縮）
  - 規制中には、市街地側への道路横断を呼びかけることにより、迅速な通行に寄与。
  - 帰りの国道42号上り（名古屋方面）の交通量はH28年と同様に約4,000台であったが、**規制時間の短縮により花火大会終了後の渋滞は昨年よりも早い時間で解消。**
- ⇒ 渋滞継続時間の減少が見られたため、**継続して実施。**

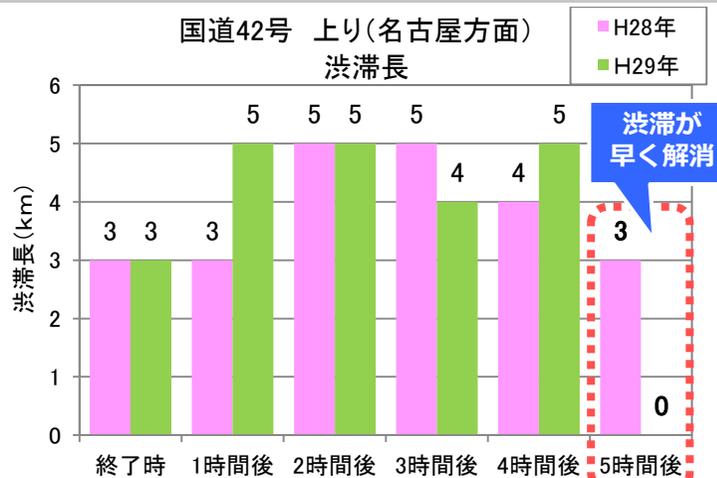


熊野大泊IC 国道42号  
上り（名古屋方面）通過台数  
（21時～翌2時）



出典：紀勢国道事務所調査結果

国道42号 上り(名古屋方面)  
渋滞長



出典：紀勢国道事務所調査結果

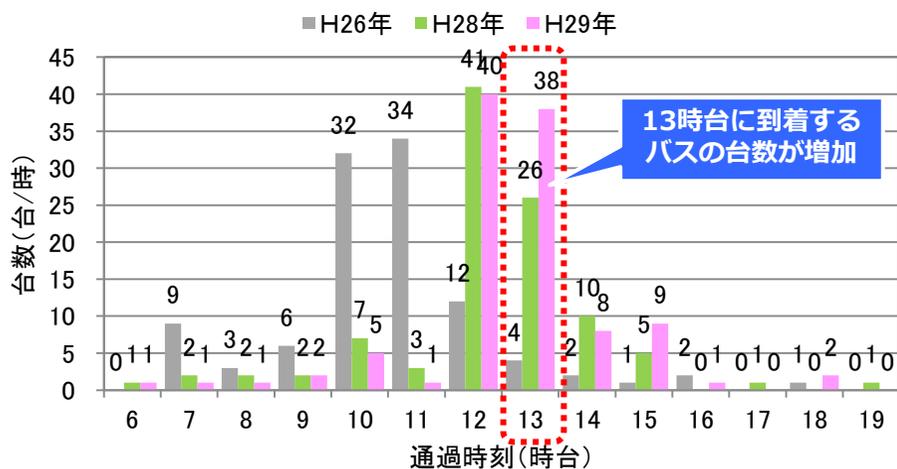


## (1) ツアーバス到着時間の幅の設定

■ H26年と比較すると12時台以降に到着するツアーバスが多く、H28年と比較すると13時台に到着するバスが増加。

⇒ ツアーバス到着時間の幅の設定によりバスの利便性が向上しており、継続して実施。

バス通過時刻(熊野大泊IC)



出典: 紀勢国道事務所調査結果



## (2) ツアーバス出庫の遅れ

- ツアーバス利便性向上のため、井戸小学校駐車場のツアーバス優先出庫を実施したが、ツアーバスの出庫時刻が遅れ、遅い時間まで渋滞が継続。
- 歩行者の駐車場までの案内やトイレの不足によりバス出庫時間の遅れに影響。



<写真1; 県道34号 松原交差点>



<写真2; 県道34号 松原交差点>



<写真3; 国道42号 井戸町交差点>



<写真4; 獅子岩交差点>



<ツアーバス利用者へのアンケート結果>

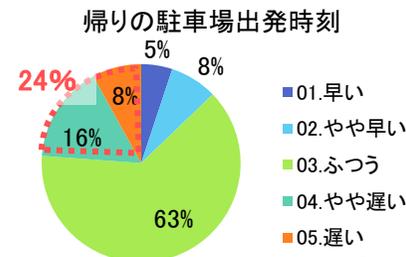
帰りのバスの集合の時に**迷子**になった人がいた。(井戸小学校駐車場)



駐車場の**仮設トイレと手洗い場が混雑**する。トイレが暗くなつてからは使用中かどうかわからないので少し明りが欲しい。(井戸小学校駐車場)



20%以上が遅いと回答



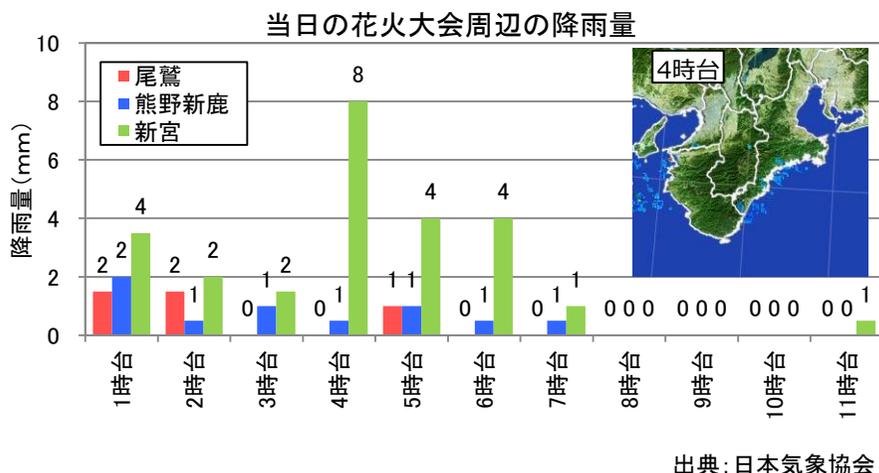
出典: 紀勢国道事務所調査結果



## (1) 雨天による駐車場閉鎖に伴ううろつき交通

- H29年は会場付近および周辺で降雨が観測され、いくつかの臨時駐車場が閉鎖。
- 閉鎖された駐車場に車両が来場するなど、駐車場周辺ではうろつき交通が発生。

<会場周辺の天気>



<閉鎖した駐車場周辺の状況>



P1~P3閉鎖  
(1,010台)



<雨天による臨時駐車場の閉鎖>



## (2) 一般車両の案内・誘導強化（道路情報板・案内看板）

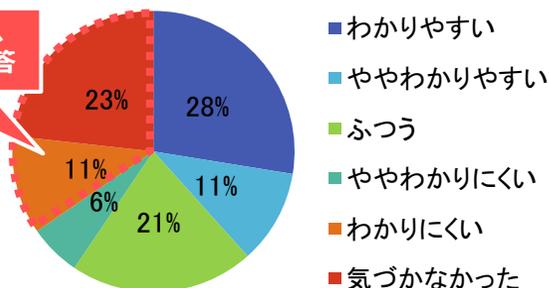
- 案内看板がわかりやすいと回答した方は全体の約40%と多いが、『わかりにくい』『気づかなかった』と回答した方も約30%と多い。
- 改善すべき点として『設置箇所を多く』『文字を大きく』『見やすい位置に配置』が多い。
- また、交差点では交通管理者への駐車場位置や交通規制に関する問合せが発生し、国道42号の通過速度が低下。

<来場者に対するアンケート>

Q.駐車場の案内看板はわかりやすかったですか

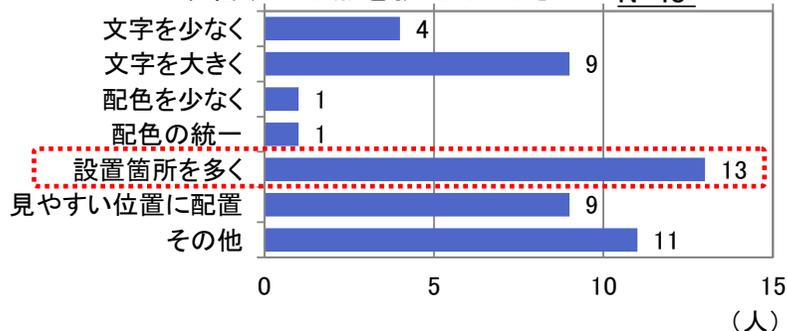
N=185

30%がわかりにくい、  
気づかなかったと回答



Q.改善すべき点を教えてください

N=48



出典：紀勢国道事務所調査結果

<案内看板設置状況>



文字がガードレールに  
遮られている



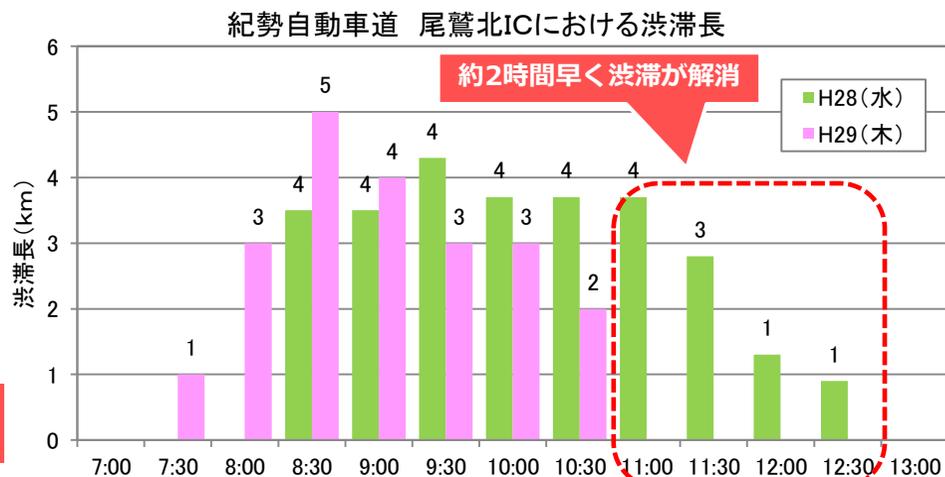
青信号時の問い合わせにより  
通過速度の低下

### 【その他意見】

- ・ Pとしか出ていないのでどこの駐車場かわからない。
- ・ キロ数を標示してほしい。
- ・ 信号真っすぐで何本目に曲がるとか具体的に。
- ・ 看板の前に車が駐車されていて見えない。
- ・ 土地勘がなく地図がよくわからない。

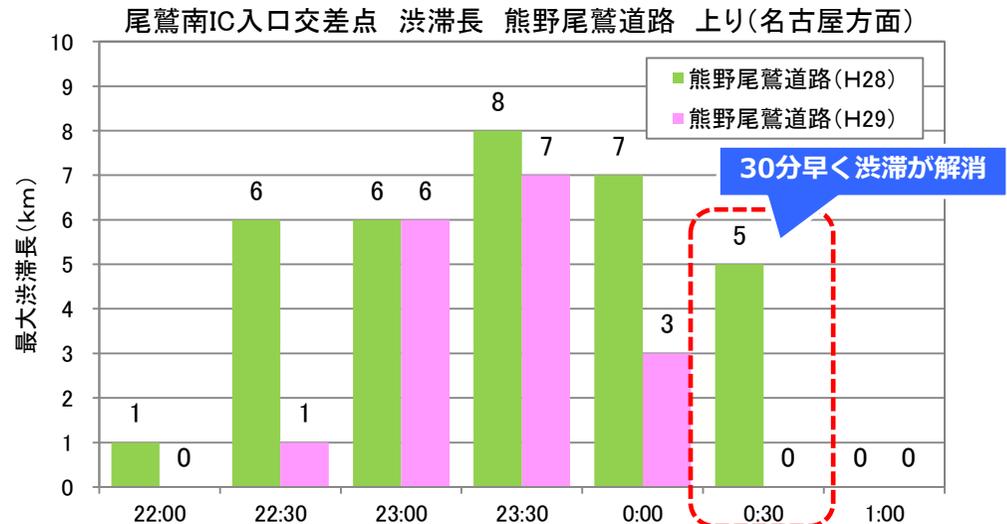
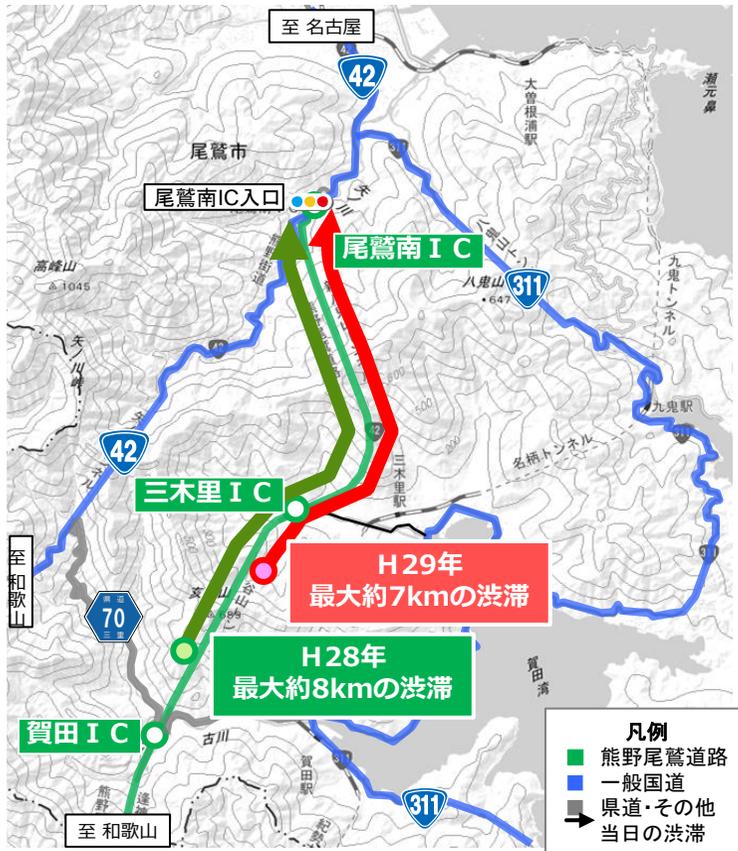
## (1) 坂場・坂場西交差点の信号現示変更

- 坂場交差点は朝7時より信号現示の変更を実施。
  - 朝のピーク時には交通容量が不足して渋滞が発生したものの、現地での警察による信号調整により、11時台には渋滞が解消。
- 信号調整により、H28年と比較して約2時間ほど早く渋滞が解消しており、今後も継続して実施。



## (2) 尾鷲南 I C 入口交差点の信号制御方法の変更

- 花火大会終了後、尾鷲南IC入口交差点を先頭に熊野尾鷲道路で最大約7kmの渋滞が発生し、0:00まで渋滞が継続。
- ⇒ 信号制御の変更対応により、H28年と比較して最大渋滞長は1 km減少、30分早く渋滞が解消したため、次年度も継続して実施を検討。

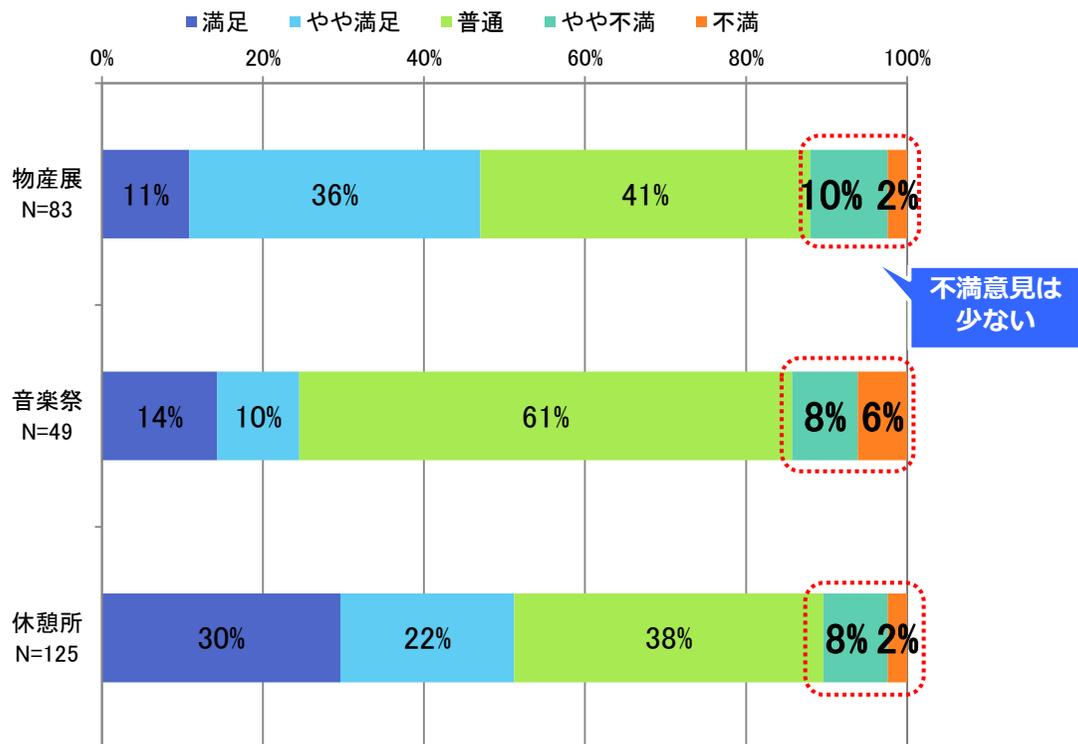


## (1) 休憩所・イベント・物販・観光案内

■ 物産展・音楽祭・休憩所に対する『不満』『やや不満』は約10%であり、満足度は高い。

<来場者に対するアンケート>

物販・イベント・休憩所に対する満足度



出典: 紀勢国道事務所調査結果



## (2) 大会プログラム（交通規制図）の更なる改善

■ 大会プログラム（交通規制図）はわかりやすいと回答した方が約80%。  
⇒ 記載内容の変更等による交通規制図の改善について、一定の効果を確認。

### 【変更点】

- 注意事項や記載内容を減らし文字を拡大
- 通行規制の色、凡例を見直し
- 吹き出しの文字数の削減

注意事項や記載内容を減らし文字を拡大

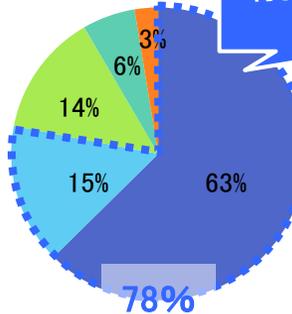
通行規制の色、凡例を見直し

### ＜来場者に対するアンケート＞

Q.交通規制図はわかりやすいですか

N=155

約80%がわかりやすいと回答



- わかりやすい
- ややわかりやすい
- ふつう
- ややわかりにくい
- わかりにくい

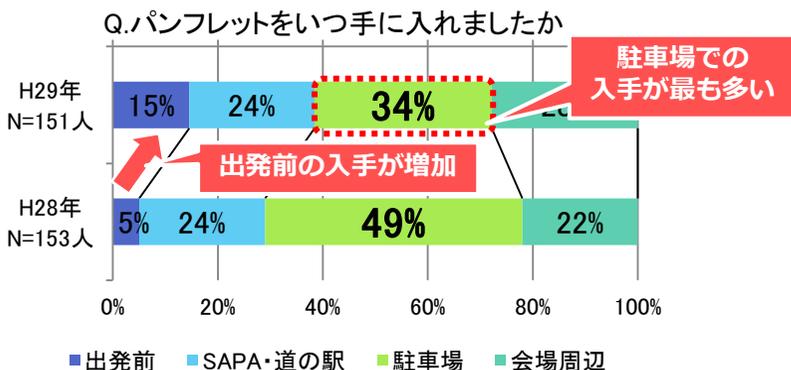
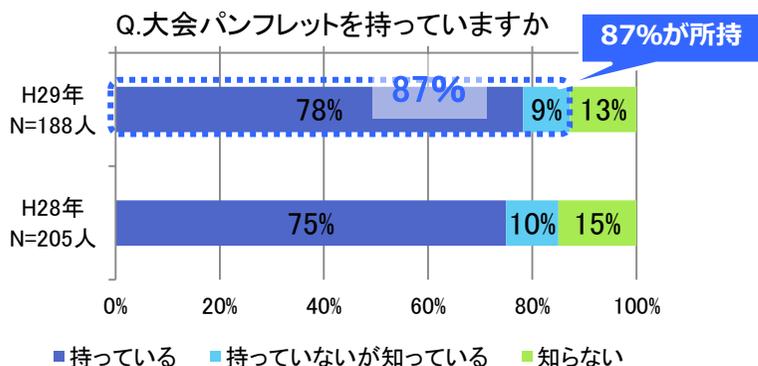
出典：紀勢国道事務所調査結果



## (3) PA・道の駅等における情報発信の充実

- アンケート回答者の87%が交通規制図（パンフレット）について認知しており、その内の78%の方がアンケート回答時に所持。
- 臨時駐車場での入手割合が最も多いが、来場前の入手も増加。
- 案内ブースを設置した3箇所では紀北PAでの配布枚数が最も多く、426枚を配布。  
→ 来場前の交通規制図（パンフレット）入手を促進するため、継続的に実施。

<来場者に対するアンケート>



<パンフレット配布状況>



パンフレットの配布枚数

